

# 霞城



第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス  
[https://www.mod.go.jp/gsd/f/neae/6d/unit\\_hp/20i\\_hp/index.html](https://www.mod.go.jp/gsd/f/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html)

第20普通科連隊 検索

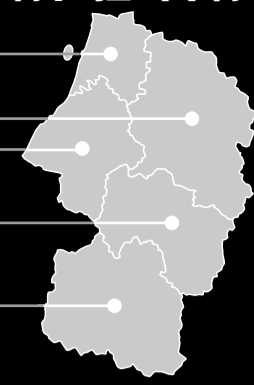
# KAJYŌ



ホームページは  
こちらから!



隊区担当中隊



- 第2中隊
- 第1中隊
- 重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



No.724



## 派遣海賊対処行動支援隊 (第19次要員)20連隊特集

派遣海賊対処行動支援隊(第19次要員)出国行事に参加



出国行事の様子

## Contents

### 2ページ

- 派遣海賊対処行動支援隊(第19次要員)20連隊特集
- 警衛隊長挨拶
- ジブチ共和国の概要
- 派遣海賊対処行動支援隊の任務
- 「派遣海賊対処行動支援隊(第19次要員)出国行事」に参加
- 「派遣海賊対処行動支援隊(第19次要員)壮行会」を実施

### 3ページ

- 「施設作業小隊による日本模擬拠点構築」を実施
- 準備訓練等写真紹介
- 派遣隊員紹介

### 4ページ

- 普通科を紹介「神町駐屯地見学会」に協力
- 「第11回天童高原スノーパークフェスタ」に協力
- 20連隊へようこそ!
- 「一般幹部候補生着隊行事」を実施
- 隊員紹介コーナー
- 定年退官者紹介
- 各種表彰
- 陸曹候補生及び一般陸曹候補生入校指定おめでとう!
- 3月行事予定

2023

February  
2

# 隊(第19次要員)20連隊特集



## 「派遣海賊対処行動支援隊の任務」

アフリカソマリア沖やアデン湾において、海賊行為から付近を渡航する船舶を護衛する海賊対処行動部隊の活動拠点の警備や維持管理等の任務にあたり、海上自衛隊が実施する海賊対処任務を支援すること。

## 「派遣海賊対処行動支援隊(第19次要員)出国行事」に参加

1月15日(日)、駐屯地体育館で実施された「派遣海賊対処行動支援隊(第19次要員)出国行事」(執行者 第6師団長 鬼頭陸将)に連隊から派遣される警衛隊長(第3中隊 丸山3佐)以下約50名が参加した。行事では、警衛隊長が執行者に対し、準備完了報告を実施した。執行者は訓示において「支援隊の任務がシーレーン(海上交通路)の安全と秩序の維持、国際社会の安定に貢献することとなる。同僚と協力しつつ創意を尽くして各種の事態に対応し、与えられた任務を完遂してもらいたい。」と激励した。

派遣隊員は隊員紹介において、一人ひとりが「一生懸命に取り組めます。」「職務を全うします。」などと力強く述べたほか、要員を代表して、警衛隊長が「東北の部隊らしい粘り強さを武器にしっかりと任務を完遂し、無事に帰国できるように頑張りたい。」と決意を述べた。



派遣隊員入場



準備完了報告(写真:警衛隊長 丸山3佐)



第3中隊長  
階級氏名 3佐 丸山 真弥  
派遣役職 警衛隊長  
出身地 山形県長井市

こうして派遣任務に邁進できる事も、これまで支えて頂いた連隊の皆様、御家族の皆様の御支援、御理解の賜物と感謝申し上げます。任務完遂・無事帰国を目標に一致団結し、一生懸命頑張ります。

### ジブチ共和国の概要



ジブチ共和国の首都はジブチ市  
ジブチは紅海に面し、ソマリアやエチオピアと国境を接した国で、主な産業は運輸業など、夏には気温50度を超え、真冬でも30度を超える日があるという。  
公用語 アラビア語・フランス語  
日本からの距離 約1万km  
日本との時差 約-6時間

## 「派遣海賊対処行動支援隊(第19次要員)壮行会」を実施

1月16日(月)、駐屯地体育館で「派遣海賊対処行動支援隊(第19次要員)壮行会」(執行者 連隊長 荒木1佐)を実施した。

壮行会は、派遣隊員紹介、警衛隊長の挨拶が行われ、それぞれが自信に満ちた姿で意気込みを語っていた。また、連隊長は訓示において「事前訓練を経て、自信と希望に満ち溢れた表情を見て非常に心強く感じる。日本の代表として、しっかりと任務を完遂し、全員が無事帰国を実施した。」

することを期待する。」と述べ、派遣隊員を激励した。派遣隊員は、国際任務に従事する責任と緊張感を感じつつも、一人ひとりが連隊長と固い握手を交わし、任務完遂への強い意志を確立させ、盛大な拍手で見送られた。連隊長は壮行会を通じ、派遣隊員の士気の高揚及び派遣先での任務完遂と安全を祈念するとともに連隊全隊員の融和団結を図ることができた。



連隊長訓示



一人ひとりが連隊長と固い握手を交わした



相互に敬礼



派遣隊員紹介 力強く決意を述べた



隊員:家族に見送られ日本を出国





# 派遣海賊対処行動支援



第20普通科連隊

## 「施設作業小隊による日本模擬拠点構築」を実施

6月20日(月)から8月29日(月)までの間、神町駐屯地営庭において「令和4年度施設作業小隊訓練検閲」を実施した。

本訓練検閲は、受閲部隊である施設作業小隊(小隊長 長谷川2尉)が各中隊及び第6施設大隊等の支援を受け、課目「DGPE日本模擬拠点の構築」とし、作業工程表の作成、施設構築、進捗管理、施設概成までの一連の行動について受閲したものである。

検閲間、高温多湿の厳しい作業環境であったが、安全管理に留意しつつ各人が連携を図り作業を実施した。また、与えられた任務を完遂するため、日頃の練成の成果及び施設特長の職人魂を遺憾なく発揮し、計画通り模擬拠点を概成させた。

9月には、DGPE警衛隊が編成完結し、施設作業小隊が構築した日本模擬拠点において、機能別訓練、部隊統一訓練及び総合訓練を実施し、練度を積み重ね、派遣準備を整えた。

訓練終了後、小隊は模擬拠点の撤収を行い、全ての作業を完了した。

## 日本模擬拠点を構築 派遣隊員練磨の道場に



膨大な作業量を一一つ着実にこなし



汗を流しながら一生懸命に取り組んだ

## 部隊統一訓練・総合訓練



あらゆる事態に対処すべく練成を実施



射撃能力の向上を図った



模擬拠点内を巡察



## 派遣隊員紹介



中隊 第4中隊  
階級氏名 1尉 石井 陽介  
出身地 山形県上山市

自衛隊入隊20年目にして、初の海外派遣任務の命を受け、心地よい高揚感と緊張感を感じております。現地では、初めての業務となりまして、まずは「職務の理解」と「凡事徹底」を実践し、真摯に取り組む所存です。約半年間不在となりますが、送り出してくれる部隊と家族への感謝を忘れず勤務して参ります。



中隊 本部管理中隊  
階級氏名 2尉 村山 大輔  
出身地 山形県天童市

海外派遣は初めてであり、入隊からの希望が叶い、とても嬉しく思います。現地では抜け目のない警備態勢を施し、日本隊拠点をしっかりと守っていきます。不在間、家族・部隊には負担をおかけしますが、日本人らしく任務を全うさせていただきます。 Adventot(また会いましょう)



中隊 本部管理中隊  
階級氏名 准尉 松本 誠二  
出身地 山形県南陽市

これまで皆様の御支援、御協力のおかげで充実した準備訓練ができ、確かな練度の積み上げができた事に感謝しております。派遣されている期間、皆様には負担をかける事が多々あるかと思いますが、感謝の気持ちを忘れず、強い責任感と拠点を警備する唯一無二の警衛隊としての誇りを持ち、任務を完遂し全員無事帰国をもって恩返しできる様に頑張ります。



中隊 第1中隊  
階級氏名 曹長 千葉 孝彦  
出身地 宮城県登米市

これまで連隊の皆様には訓練や諸勤務等において多大なるご支援をして頂き、心より感謝しております。私自身初めての国際任務ではありますが、連隊の代表として、任務に対する期待と不安を胸に抱きつつ、「一報一感謝」の気持ちで忘れず、皆様の支援に報いるよう派遣隊員一丸となって任務完遂して参りたいと思っております。



中隊 第2中隊  
階級氏名 1曹 武田 裕次  
出身地 山形県東根市

初めての国際任務で、班長として勤務できるが少し不安ですが、期待感と緊張感が胸が高鳴っています。班員をしっかりとまとめ、状況判断を迅速にし、準備訓練で培った経験と知識を活かして与えられた任務に邁進します。不在間、中隊には負担を掛けますが、半年ほど宜しくお願ひします。派遣要員全員が笑顔で帰国して元気な姿を見られるように頑張ります。



中隊 第3中隊  
階級氏名 1曹 福多 強  
出身地 青森県弘前市

この度、第19次DGPEに参加する機会を得ました。班長として派遣されるにあたり、連隊の皆様御支援に対し御礼申し上げます。自身の25年目の自衛隊勤務の節目に相応しい今回の任務に日々精進し、11名の班員と協力、連携しながら慣れない生活環境やコロナに負けず任務達成無事帰国できる様、班長としての責務を全うしたいと思います。皆様も健康に留意され訓練等頑張ってください。



中隊 第4中隊  
階級氏名 准尉 二瓶 浩明  
出身地 山形県高島町

三度目の海外派遣になりますが、国も任務も変わるので、今回も新たな気持ちで最善を尽くします。模擬拠点の構築から総合訓練まで、支援頂いた皆さん、ありがとうございます。自分たちがシブチで勤務する間、引き続き家族支援をお願いすることになります。日本隊として頑張りますので、帰国するまでよろしくお願ひします。



中隊 第1中隊  
階級氏名 士長 横澤 拓海  
出身地 山形県白鷹町

私の一つの目標であった国際任務：大変嬉しく思いますが、初めての事ばかりで、不安も大きくあります。シブチは非常に暑い国です。暑さが苦手な私にとっては苦痛でしたがありませんが任務完遂に努めていきます。そして無事に帰国したならば結婚致します！



中隊 第2中隊  
階級氏名 士長 市川 貴太  
出身地 山形県米沢市

初めての国際任務でたくさん不安な事がありましたが、日々練習訓練を重ねる中で、不安が自信に変わることを実感しました。国内で学んだ事を現地でもしっかりと発揮し、任務完遂に貢献します。目標は一つです。3曹以上に勤ける陸士長で帰国します！



中隊 第3中隊  
階級氏名 士長 羽角 有生  
出身地 山形県白鷹町

初めての国際任務で班に陸士が一人しかいないというところもあり、不安と緊張感でいっぱいです。準備期間で培った知識と経験をフルで活かして与えられた任務に一杯取り組めます。まずは任務完遂し無事に帰国することを目標として、これまでの期間、家族、同期、彼女など沢山の人間に支えられてきたのでその応援に応えたい。厳しい環境でも結果が出せるように一生懸命頑張ります。



中隊 第4中隊  
階級氏名 3曹 後藤 智宏  
出身地 山形県酒田市

初めての国際任務で正直不安、心配事が多いですが、期待感を胸に出る準備は万全です。技能・知識の向上はもちろん、人間として大きく成長できるように任務に邁進します。心身ともに健康に留意し笑顔で帰国できるよう頑張ります。

# 3月行事予定

13日(月)・定期異動

## 定年退官者紹介

永年の勤務、お疲れ様でした。



- ・第1中隊
- ・佐々木 優 1曹
- ・1月22日付
- ・河北町在住



- ・重迫撃砲中隊
- ・松浦 清和 准尉
- ・1月26日付
- ・天童市在住

## 陸曹候補生及び一般陸曹候補生入校指定おめでとう!

(2月1日付)

### 第143期陸曹候補生指定者

- ・本部管理中隊 竹田 大希
- ・第1中隊 今野有宇基
- ・重迫撃砲中隊 五十嵐 樹

### 一般陸曹候補生入校指定者

- ・本部管理中隊 野田 和希
- ・第1中隊 三橋 伊吹
- ・第2中隊 石山 就斗
- ・同 加藤 大空
- ・同 五十嵐大貴
- ・重迫撃砲中隊 草苺 愛斗

### 第103期陸曹候補生指定者(女性自衛官)

- ・本部管理中隊 武田 里奈
- ・重迫撃砲中隊 二瓶 実里

## 各種表彰

- 【**服務優秀中隊**】  
(無事故500日達成)  
・第3中隊
- 【**第2陸曹教育隊長より褒賞状**】  
(第141期初級陸曹特技課程(迫撃砲)において成績優秀)  
・第2中隊 3曹 武田 彪牙  
・第4中隊 3曹 太田 龍馬
- 【**ピアカウンセラー(駐屯地カウンセラーを実施できる能力・資格)に認定**】  
・第4中隊 1曹 松田 良  
・同 3曹 根本 翔太
- 【**東北方面総監より顕彰状**】  
(連隊総務幹部としての功績)  
・本部管理中隊 准尉 脇 義行

1月22日(日)、神町駐屯地において自衛隊山形地方協力本部が実施する「神町駐屯地見学会」に協力した。連隊からは第2中隊の3名(伊藤准尉、新山准尉、竹田3曹)が参加し、新隊員教育隊の概要説明、格闘訓練展示を行った。



格闘訓練展示

見学会には採用試験合格者35名、保護者19名、計54名が参加し、4グループに分かれ、それぞれの職種会場(第20普通科連隊、第6後方支援連隊、第6施設大隊、第6通信大隊、第6特殊武器防護隊、第6飛行隊、第6情報隊、第401会計隊)を見学した。



新隊員教育隊の概要説明

## 普通科を紹介

# 「神町駐屯地見学会」に協力

# 「第11回天童高原スノーパークフェスタ」に協力



大人気の雪像



記念撮影を楽しんだ

1月26日(木)から2月5日(日)までの間、天童高原スキー場において「第11回天童高原スノーパークフェスタ」に協力した。

本イベントには第4中隊 高橋功曹長以下15名が雪像制作及びイベント運営に協力した。雪像制作間、大寒波に見舞われる等、過酷な状況下であったが、隊員たちは強い責任感のもと真摯に取り組み、イベント前日までに雪像を完成させた。

イベント当日(2月4日・5日)には同中隊の10名が参加し、雪像の維持管理、装備品展示(軽装甲機動車、スキー一式、背のう)を実施した。来場者は実際にスキーや背のうに触れたり、車両と一緒に記念撮影をするなど、イベントを満喫していた。

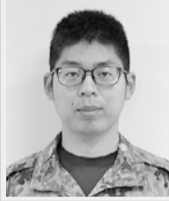
連隊は本協力を通じ、地域住民等の自衛隊の活動に対する理解の促進及び親近感の醸成を図ることができた。



真摯に取り組んだ協力隊

## 「一般幹部候補生紹介」

<p>第1中隊へ</p> <p>関口駿太郎</p> <p>・年齢 23歳</p> <p>・出身 長野県</p> <p>・出身校 関西学院大学</p> <p>・一言 部隊に貢献できるように一生懸命頑張ります。</p>	<p>第2中隊へ</p> <p>森 幸哉</p> <p>・年齢 23歳</p> <p>・出身 愛知県</p> <p>・出身校 防衛大学校</p> <p>・一言 「なぜ成る為ならば成らぬ何事も」をモットーに積極的に活躍し頑張ります。</p>
---	---



## 20連隊へようこそ!



力強く決意表明



スキー機動で入場

1月31日(火)、庁舎後において「一般幹部候補生着隊行事」を実施した。

行事では、1月27日付で着隊した一般幹部候補生(BU)2名が、連隊の隊員の盛大な拍手で迎えられ、スキー機動で入場した。両幹部候補生は、慣れないスキー機動をもとめせず、生き生きとした表情で一生懸命滑走し申告位置まで前進した。

また、幹部候補生らしく緊張しつつも節度ある基本教練及び大きな声で澁刺颯と申告を行うとともに、決意表明では「連隊の任務遂行に貢献できるように一生懸命頑張りたい。」と述べた。

着隊した一般幹部候補生は、3月下旬まで各中隊で隊員たちと営内生活を共にし、各種訓練を経験して、幹部自衛官としての一歩を踏み出す。

# 「一般幹部候補生着隊行事」を実施